

交通バリアフリー教室 in 水戸市立下大野小学校

茨城運輸支局では、令和7年10月23日（木）に水戸市立下大野小学校の4年生9名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和7年10月23日（木）13:40～14:40
- 場 所：水戸市立下大野小学校
- 参加者：4年生 9名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏【講師】、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- まとめ
(体験してわかったこと、難しかったこと、
良かったこと)



参加者の感想

- ・高齢者疑似体験はひざや手が曲がらなくて大変だった。
- ・車いすで降りるときのスロープがすごくわかった。
- ・スロープを乗り降りする時に、車いすが重くなって人の力をかりないとダメだった。
- ・車いすが重くて助けなしではできなかった。
- ・車いすの人の助け方が分かった。
- ・けがをさせないようにしないといけないプレッシャーがある。
- ・声をかけて介助するのが大事だと思った。
- ・お客さんは困っている人がいたら声をかけるのが大事だった。
- ・大変だけど助けるほうが良いと分かった。
- ・車いすの人を助けてあげようと思いました。